

(別添様式)










埼玉県環境SDGs取組宣言企業(一般社団法人埼玉県環境検査研究協会)取組報告

報告年月日 令和4年10月1日

1 企業等基本情報

所在地	埼玉県さいたま市大宮区上小町1450-11		
電話番号	048-649-5496	URL	http://www.saitama-kankyo.or.jp/
業種	74 技術サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	124名
事業内容	環境にかかる測定、分析及び調査・研究、水道事業の原水・浄水の検査、簡易専用水道に関する法定検査、浄化槽に関する法定検査、環境保全活動の普及啓発及び支援		


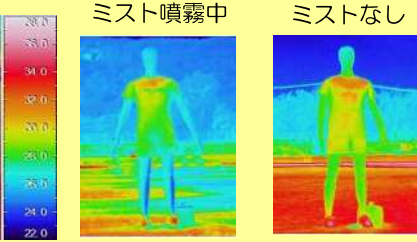

2 取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDGsのゴール
1	<b>【省エネ】</b> ・エコアクション21に基づき環境経営計画・目標を策定し、大型分析機器の廃止、省エネ型設備更新、クールビズ・ウォームビズの実施をはじめ、環境負荷低減のための省エネ対策の取組を行いました。 ・2021年度二酸化炭素排出量(売上当たり)は、0.442(kg-CO <sub>2</sub> /千円)となり、基準年度(2017年度)比で22.2%の削減を達成しました。	  
2	<b>【人材育成・環境学習】</b> ・環境問題の現況と将来を展望するセミナーを開催しています。第19回目となるセミナーは「脱炭素のゆくえ」と題し、2050年カーボンニュートラルへの動きが活性化する中、今後の動向や論点などの共有を目的にリアルとオンラインのハイブリットでの開催としました。 ・オンラインを活用したことで、宮城県から福岡県まで全国各地から178名と多くの方々に参加いただきました。	
3	<b>【水の管理:簡易専用水道】</b> ・水道検査課では、水道法第34条の2及び水道法施行規則第56条に基づく厚生労働大臣の登録機関の検査として、簡易専用水道設備 <sup>※</sup> の適正管理と公衆衛生の向上を目的に、施設の管理が不十分な施設(Cランク施設)に対して改善の指導、アドバイスを行いました。 ・この結果、前年度Cランク施設であった施設が改善した割合は、89.9%となり、目標値(改善率60%以上)を達成しました。 <small>※建築物等の給水において、水道事業者から供給された水を一旦受水槽に受け、高置水槽等を利用して各階に給水するものうち、受水槽の有効容量が10立方メートルを超える施設は、水道法で簡易専用水道として規制の対象とされています。</small>	
4	<b>【水環境の保全:浄化槽】</b> ・浄化槽検査課では、浄化槽法第7条及び11条に基づく埼玉県知事指定検査機関として、県南、県西部区域の浄化槽法定検査を通して河川等の公共用水域の汚濁物質低減に努めています。 ・2021年度浄化槽法第11条検査の検査基数は39,953基と、昨年度比10%増加となりました。	 
5	<b>【社会貢献活動】</b> ・美化活動として、毎月1回全従業員が参加し、施設周辺や周辺道路、近隣住宅を中心に清掃美化活動を実施しています。 ・社会人としての職業意識を在学中に高めることを目的に、大学生3名をインターンシップとして受け入れ就職活動が本格化する前の業界研究の一環として活用してもらいました。 ・郵便物の使用済み切手を回収し、「特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター」に寄付を行いました。年間累積で449gの使用済み切手を回収することができました。	 

※取組を5つまで記載

※「2 取組概要」の部分については、必要な項目が記載されていれば上記表形式によらずとも可(図表、写真も可。ただし、全体でA4縦1枚に収めること)

### 3 他社の環境SDGsの取組に貢献する製品・サービス等

内容	SDGsのゴール
<p><b>【気候変動対策】環境技術実証事業</b></p> <p>・本事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境改善効果等を第三者が客観的に実証するものです。当協会は実証機関としてこれまでに有機性排水処理技術、湖沼等水質浄化技術、気候変動対策技術等の環境技術について、試験結果に基づく環境改善効果の第三者評価を行っています。</p> <p>・2021年度は「フィールド冷却細霧システム」を実証しました。</p> <p>この技術は、ミストにより夏季のスポーツグラウンドにおける利用者の体感温度を下げる事が可能となる技術です。</p> <p>実証結果は環境省のホームページに掲載されています。是非ご覧ください。</p> <p>環境省 ウェブサイト（実証結果・写真引用先）  <a href="http://www.env.go.jp/policy/etv">http://www.env.go.jp/policy/etv</a></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ミスト噴霧の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ミスト噴霧中      ミストなし</p> <p>ミスト有無による体表面温度の比較（マネキン使用）</p> </div> </div>	

※自社の有する環境に配慮した製品・サービス・施工技術等で、他事業者がそれを利用することで、環境分野のSDGsの取組を進めることができるものがあれば、200字程度までで記載してください。（図表、写真も可）

※本様式をそのまま県ホームページに掲載